

外傷等動向調査委員会から各対策委員会の取組への意見・アドバイスについて

●外傷等動向調査委員会の役割

※久留米市セーフコミュニティ外傷等動向調査委員会要領より
(所掌事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 外傷等の発生動向データの分析に関すること。
- (2) 予防活動の効果・影響等の測定・評価に関すること。
- (3) その他必要な事項

① けがや事故に関するデータ収集や発生動向の分析

久留米市の安全安心に関わるデータを用いて、久留米市の安全安心を診断する「地域診断」を行う。

地域診断に用いるデータ

- ◆ 人口動態統計、救急搬送データ、警察統計などの統計データ
- ◆ 久留米市民意識調査やセーフコミュニティ実態調査、久留米市高齢者実態調査、久留米市男女平等に関する意識調査などのアンケート調査
- ◆ 久留米市の各課など、行政機関が業務に関して集計しているデータ

② 各対策委員会の取組の効果・影響等の測定・評価

各種データの推移を踏まえながら、各対策委員会の取組を検証し、アドバイスを行う。

第26回（令和8年度第1回） セーフコミュニティ外傷等動向調査委員会

日程：令和8年5月12日(火) 場所：久留米市役所4階 401会議室

団体名	役職
学校法人 久留米大学	教授
一般社団法人久留米医師会	理事
社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院	副院長兼救命救急センター長
損害保険ジャパン株式会社	担当部長兼 久留米保険金サービス課長
久留米広域消防本部	救急防災課長
久留米市保健所	所長
久留米市	協働推進部長

※今回は、②に基づき各対策委員会の取組を検証し、アドバイスを行った。

●外傷等動向調査委員会から各対策委員会の取組への意見・アドバイス

1 交通安全対策委員会

課題	・交通事故全体に占める高齢者関連事故の割合や、高齢者関連事故に占める高齢者が加害者となる事故の割合は、増加傾向にある。 ・自転車の交通ルール、マナーを向上させたい。
意見・アドバイス	・高齢者の免許返納は重要だが、代替の交通手段を用意しないと難しいのではないかな。 ・反射材の活用促進について、地域の幼稚園や保育園と連携して子どもの手作りをお渡ししたら喜んでつけてくれるはず。 ・自転車事故は車のドライバーも意識すべき。警察の取締りも重要。 ・自転車事故は、高齢者も増加していると感じる。高齢者に対しても、啓発をしていくべき。

2 児童虐待防止対策委員会

課題	・赤ちゃんふれあい体験では、なるべく多くの親子に参加してほしい。 ・子どもが大人に SOS を発信できるよう、取組を充実させていきたい。
意見・アドバイス	・赤ちゃんふれあい体験の参加は、ボランティアなのか。粗品をお渡しするとよいのではないかな。 ・先生や大人に SOS を伝えることは、子どもからしたらハードルが高い。先生や大人から話せる機会を作ると、話しやすいかも。 ・中学年や高学年は AI に相談している子も多いのでは。対面が苦手な子のためにも、オンライン等の相談方法を取り入れると相談しやすいのでは。

3 学校安全対策委員会

課題	・現在、学校内のけがに関しては、日本スポーツ振興センターのデータを使用している。学校に負担をかけないように配慮しつつ、けがに関するデータを収集できないか。 ・学校外との団体（地域、消防等）と連携し、取組を推進する必要がある。
意見・アドバイス	・児童のけがの集計は、例えば QR コードを読み込んで項目をチェックするだけにしておく、負担が少なくデータを収集できるのではないかな。 ・令和 8 年度については、救命講習を全中学校で実施する予定。

4 高齢者の安全対策委員会

課題	・溺死・溺水や転倒予防に関する効果的な対策がないか。
意見・アドバイス	・高齢者の前段階の 50 代 60 代にもアプローチすることによって、転倒予防に繋がるのではないかと。 ・運動だけでなく食事も転倒予防に繋がることを伝えていくべき。

5 防犯対策委員会

課題	・ニセ電話詐欺や闇バイト等の被害に遭わないためには、こういった情報発信が効果的か。 ・地域での防犯意識を向上したい。
意見・アドバイス	・「詐欺バスターズ」というアプリを活用してはどうか。アプリの利活用促進も防犯活動に繋がるのでは。 ・地域での防犯活動は、現役世代は忙しくて参加できないのが現状。定年退職後の方も働いている方が多いので、なかなか難しい。ペットショップに「ながら防犯」のポスターを貼りだすことで、犬の散歩をし「ながら」防犯ができるのではないかと。

6 DV 防止対策委員会

課題	・若年層の意識向上、高齢者・障害者の DV 被害の早期発見。
意見・アドバイス	・家庭事情を公言することに抵抗がある人もいる。グループワークや座談会で DV とは何かについて伝えていく。

7 自殺予防対策委員会

課題	・自殺に関する正しい認識の醸成と、ゲートキーパーの養成。 ・対象者に合わせた効果的な取組がないか。
意見・アドバイス	・40 代、50 代の働く世代の自殺者が多い。労働者はストレスチェックができていないが、主任者はできていないと思う。主任者に声をかけていくべきだと思う。 ・警察や救急の方にもゲートキーパーの講習をするのはどうか。

8 防災対策委員会

課題	・防災士や防災リーダーが活動できる環境の整備。 ・若年層が防災活動へ参加するために効果的な手法はないか。
意見・アドバイス	・災害は日常的なものではないため難しいところがあるが、日頃から訓練をしておくべき。どう取り組んでいくかが重要な問題である。 ・久留米市の公式 YouTube や LINE は一定の登録者数がある。そういう場面で呼びかけてみてはどうか。